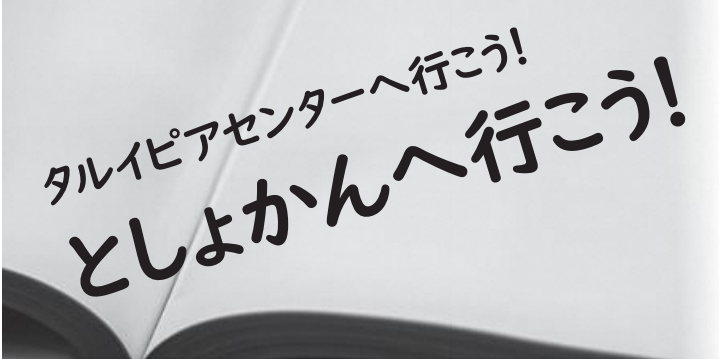




垂井町は「家読(うちどく)」を推進しています

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：午前10時～午後6時(学習室は午後5時まで)

休館日：10/5(月)、13(火)、19(月)、26(月)、29(木)



電子書籍を読みたい人は
県図書館に申請しましょう



【今月号の新刊】



プラスチックごみはなぜなくせない?

玉木祥子、小坪游
岩波書店

生活に欠かせない素材である一方で、深刻な環境汚染も引き起こすプラスチック。さまざまな現場取材した記者が、プラスチック問題の複雑さや取り組みの現状を伝えながら、今後どうプラスチックに向き合うべきかを考える。



ぼくは、ずっとここにいます。—ハチの物語—

梶木こえだ、あやか絵、
Gakken

10年にわたり、雨の日も風の日も雪の日も「先生」の帰りを信じて渋谷駅へと通い続けた秋田犬のハチ。ハチは何を思い、何を感じ、ずっとそこに佇んでいたのか。感動のエピソード「ハチの物語」を、ハチ目線で描く。



低山遭難

—「まさかの遭難」から生きて帰った人たち—

羽根田治、東洋経済新報社

急峻な山に限らず、1200m以下の低山での遭難も多発している。クマ襲撃、ハブ咬傷、滑落、山中での5日間遭難…。低山遭難から生還した人たちに直接取材し、事故の一部始終を丹念に記録する。



誰何

伏尾美紀、光文社

東京都内で松川美和が孤独死した。だが親族によると松川は2年前に死去しているという。松川美和の部屋と、石狩で起きたひき逃げ事件の被害者宅で、北海道警察の警官だった新内由紀の、警官時代の名刺が見つかって…。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

- ▶テーマ展示「秋風に吹かれて、旅に出よう」「のりもの だいすき！」
- ▶図書館福袋(秋の読書週間) 10/30(金)から
- ▶絵本のよみきかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶図書館利用の際には、マイバックをお持ちください。

利用の記録

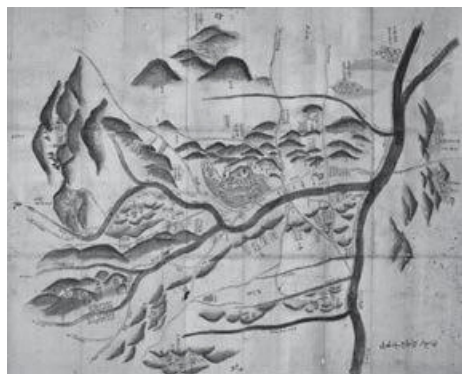
R8. 8月	開館日数	25日
	入館者数	7,614人
	貸出冊数	13,344冊

歴史探訪

竹中半兵衛、最後の戦い

天正五年(一五七七)竹中半兵衛は羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)とともに織田家に敵対する毛利氏と対峙するため、播磨攻めに向かいました。翌年、東播磨の拠点である三木城の別所長治が織田方を離反したため、秀吉軍は窮地に陥ります。秀吉は三木城を攻略するため、城の周囲に多数の付城を構築し、兵糧搬入を封鎖しました。三木城の包囲は天正八年(一五八〇)一月まで続き、城内の食糧が尽きた別所方は長治ら一族が自害し、三木合戦は終結しました。

この包囲戦の最中の天正七年(一五七九)六月一三日、半兵衛は陣中で病死しました。秀吉本陣があった平井山の麓に半兵衛の墓が造られ、毎年、地区の住民が中心となって法要が催されています。



みきひらやまかましろのえず
▲三木平山砦城之絵図 江戸時代
(三木市教育委員会蔵)

『垂井町史』通史編・史料編
タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館
で販売中 各4,000円